



2025年5月15日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長兼最高経営責任者
 此下 竜矢
 (コード番号 5103 スタンダード市場)
 問合せ先 取締役兼最高執行責任者兼
 最高財務責任者 庄司 友彦
 (TEL. 04-7131-0181)

2025年3月期（連結）業績と前年実績値との差異、
 及び個別業績と前年実績値との差異に関するお知らせ

当社は、近年当社グループを取り巻く事業環境が目まぐるしく変化している状況を勘案し、当社及び、当社の子会社等が進出している各国での状況を詳細に精査・検討を行う必要があることから、連結・個別の業績予想の公表を差し控えさせていただいておりますが、2025年3月期（連結）業績と前年実績値の差異が、開示基準に抵触いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期（連結）業績と前年実績値との差異（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益 (▲損失)	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当 り 当期純利 益
前期実績(A)	8,868百万円	4百万円	▲781百万円	▲531百万円	▲7.01円
当期実績(B)	8,619百万円	25百万円	▲268百万円	▲203百万円	▲2.69円
増減額(B-A)	▲249百万円	21百万円	512百万円	327百万円	4.32円
増減率(%)	▲2.81%	521.38%	—	—	

2. 前期実績との差異理由

当社事業は、主に連結子会社の行う食品事業、ゴム事業、スポーツ事業、コンテンツ事業の4事業に加え、重要な持分法適用関連会社の行うDigital Finance事業、リゾート事業からなっております。

売上高につきましては、主に、ゴム事業において国内民間設備投資が減速の気配を見せているこ

とから、当第4四半期会計期間において売上・受注が低調（10.9%減）に推移したことが、減収要因となりました。以上の結果、売上高は8,619百万円（前年同期比249百万円減）という結果となりました。

営業利益（損失）につきましては、上記ゴム事業の減収要因に加え、スポーツ事業の中の旅行事業（タンニングに関わるスポーツツーリズム事業）が円安の影響から減益となりましたが、主に和菓子の製造販売を行う食品事業とゲームの企画開発、及び漫画・アニメ・ゲーム関連の書籍の企画編集等を行うコンテンツ事業が好調に推移したことから、減益要因をカバーし、増益（521.38%増）となりました。以上の結果、営業利益は25百万円（前年同期比21百万円増）という結果となりました。

経常利益につきましては、前期と比較すると上記営業利益までの増益（21百万円増）理由に加え、主に、持分法適用関連会社が行うDigital Finance事業において計上していた貸倒引当金繰入が減少したことから持分法投資損失が421百万円減少したこと、当社で係属している裁判等の訴訟費用が41百万円減少したことが増益に寄与したものの依然として損失を計上しております。以上の結果、経常利益▲268百万円（前年同期比512百万円増）という結果となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益（損失）につきましては、上記経常損失まで増益（512百万円増）理由があったものの、主に昨年、損失を控除する効果のあった非支配株主に帰属する当期純損失が223百万円減少したことから、経常利益までの増益効果の一部と相殺されることとなり、親会社株主に帰属する当期純利益は203百万円（前年同期比327百万円増）となりました。

3. 2025年3月期個別業績と前期実績との差異（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A)	420百万円	▲100百万円	▲101百万円	▲1.34円
当期実績(B)	382百万円	▲176百万円	▲162百万円	▲2.14円
増減額(B-A)	▲38百万円	▲75百万円	▲60百万円	▲0.80円
増減率(%)	▲9.06%	—	—	—

4. 前期実績との差異理由

2025年3月期の実績につきましては、主に子会社支援を目的に経営指導料等の減免したことにより売上高が減少し、382百万円（前年同期比38百万円減）となりました。

経常利益につきましては、子会社に係る債務保証引当金について、子会社の業績が堅調であったことからその一部を取り崩し、債務保証引当金戻入益85百万円を計上したことや、当社に係属する裁判に係る訴訟費用が減少（41百万円減）する等の増益要因がありましたが、子会社向け債権に係る貸倒引当金については、子会社の業績、及び財政状況を検討の上、233百万円積み増したことが減益要因となり、▲176百万円（前年同期比75百万円減）となりました。また、当期純利益につきましては、主に上記に記載した経常利益までの減益の影響をそのまま引き継ぐ形となり、▲160百万円（前年同期比60百万円）となりました。

以上